

# 350人がさわやかな汗

総合福祉スポーツ大会



和気あいあいとゴール



玉入れを楽しむ参加者

第4回町総合福祉スポーツ大会が9月21日、社会体育館で開催約350人の参加者は、和気あいあいとさわやかな汗を流しました。

同大会は、高齢者や身体・心身障害者、母子・寡婦、デイサービスセンター・福祉作業所利用者の皆さんが、スポーツを通じて健康・体力づくりと相互の親睦を深めるのが目的。会場では、ボランティアの皆さんとの協力によりスプリンレースや宝さがし、玉入れなど18種目の競技が行われました。参加者は「童心に返ってプレーでき、楽しく過ごせました」と話していました。

## 交通事故に気をつけてね

はーとめーる事業

館林地区三交連絡協議会（館林市・板倉町・明和町・館林警察署・館林交通安全協会）では9月10日、館林郵便局で「はーとめーる引渡式」を行いました。

これは、小学生4、915人が75歳以上の高齢者8、592人に宛て、ハガキに交通安全を呼びかけるメッセージを書き、郵便局員が敬老の日前に可能な限り直接手渡しで配達することで事故防止につなげることを目的に行われるものです。「おじいちゃん交通事故には気をつけてね」などと書かれたハガキが手渡されました。



各郵便局長に「はーとめーる」を手渡す斎藤町長

## 本の魅力を再発見して

小学生が1日図書館員



書架の整理をする小学生

町立図書館では9月21日、小学生が1日図書館員として図書館の体験学習を行いました。

この学習は、学校週5日制に伴う事業で、図書館の業務に携わることによりたくさんの方の図書に触れ、本の魅力を再発見してもらおうのが目的。今後も毎月1回、土曜日に小・中学生が体験する予定です。参加した小学生4人は、パソコンによる図書の貸出・返却業務や書架の整理整頓などに挑戦しました。参加者は「大人になってから役立つと思います」と話していました。